

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	運動学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	奥田正作	実務経験と その関連資格	平成14年 理学療法士免許取得 平成23年 柔道整復師免許取得 平成26年 柔道整復師専科教員免許取得【病院勤務 21年以上】			
《授業科目における学習内容》						
内容は教科書を中心に行います。臨床に照り合わせて行う予定です。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験： 70 % 2. レポート： % 3. グループワーク中の態度・発表： 30 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「運動学」 南江堂						
《授業外における学習方法》						
運動学の教科書や国家試験問題を基に各自復習する						
《履修に当たっての留意点》						
生涯、勉強の必要な科目となります。必要性を知るきっかけとなればと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動学を学ぶ目的を理解する。	運動学教科書	教科書を運動学の全体像を把握する	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動感覚の機能と構造を理解する	運動学教科書	身体運動と力学	
		各コマにおける授業予定	運動感覚			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	反射と随意運動を理解する	運動学教科書	身体運動と力学	
		各コマにおける授業予定	反射と随意運動			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢の保持に関する身体構造を理解する	運動学教科書	運動器の構造と機能	
		各コマにおける授業予定	姿勢			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動発達と運動学習を理解する	運動学教科書	運動器の構造と機能	
		各コマにおける授業予定	運動発達と運動学習			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 肩関節と上肢帯の機能・構造を理解する	運動学教科書	運動器の構造と機能
	講義形式	各コマにおける授業予定 四肢と体幹 上肢 肩関節と上肢帯		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 前腕の機能と構造を理解する	運動学教科書	神経の構造と機能
	講義形式	各コマにおける授業予定 四肢と体幹 上肢 前腕		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 股関節の構造と機能を理解する	運動学教科書	神経の構造と機能
	講義形式	各コマにおける授業予定 四肢と体幹 下肢 股関節		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 膝関節の構造と機能を理解する	運動学教科書	運動感覚
	講義形式	各コマにおける授業予定 四肢と体幹 下肢 膝関節		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 足関節の機能と構造を理解する	運動学教科書	反射と随意運動
	講義形式	各コマにおける授業予定 四肢と体幹 下肢 足関節と足部		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 頸部から腰椎にかけての運動連鎖を理解する	運動学教科書	四肢と体幹の運動
	講義形式	各コマにおける授業予定 四肢と体幹 下肢 頸椎から腰椎 ①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 頸部から腰椎にかけての運動連鎖を理解する	運動学教科書	四肢と体幹の運動
	講義形式	各コマにおける授業予定 四肢と体幹 下肢 頸椎から腰椎 ②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 過去の国家試験問題を通じて重要ポイントを理解する	運動学教科書	四肢と体幹の運動
	講義形式	各コマにおける授業予定 その他 リハビリテーション国試対策		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 いままでの講義内容の重要ポイントを理解する	運動学教科書	履修範囲のまとめ
	講義形式	各コマにおける授業予定 総復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 履修範囲の国家試験同等問題が解けるようになる。	運動学教科書	履修範囲の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定 まとめ		